



【福島地区・金谷】 岩下 和史さん撮影

福島港で冬の早朝に水面から出る蒸気霧。後ろには作業する大型のクレーン船や作業船。

うたごよみに掲載する写真を募集しています。
まちの魅力を再発見できる写真のご応募を
お待ちしております。詳しくは、こちら



問合せ先 総務課秘書広報係 ☎内線315

「俳句」あさひ俳句会選

短歌の投稿は 清水しづ子さんまで(☎72-15546)

「短歌」串間短歌会選

初日差す部屋にまぶしき歌暦先づ一月にわが短歌あり
西小路 坂本 不二子

ようやくに芽を出したる空豆は寒九の雨にさ緑増しぬ
西浜 河野 ヨシ子

一輪の蠟梅の花ほほ笑めば吾の背筋もすつと伸びたり
上中園 鍋倉 文子

戴きしシンビジウムの寒咲きがすつくとたたり 老いを語るな
古川 野邊 俊子

二年振り住民票ある諏訪浜に帰り来しとふアザラシすわちゃん
霧島 清水 しづ子

黒豆のぼっくり上り至福の時
串間 島田 ミネ子

百舌鳴くや母のかたみの琴の爪
仲町 木島 幸子

啓蟄や土に命を感じをり
上町一 又木 順子

野火走る火の番一人真顔かな
仲町 原里歌

田の光享けて軽やか鳥帰る
上小路 木島 サイ子

俳句の投稿は 又木順子さんまで(☎72-10159)

まだまだ知らない串間がたくさん！

くしま再発見

春駒に会える季節がやってくる！

串間の春といえば、やっぱり「都井岬の春駒」！
毎年、春駒第1号の知らせを心待ちにしている方も多いのではないのでしょうか。春駒たちが母馬に寄り添う姿や暖かい日差しを浴びながら昼寝をする様子を想像すると、今からわくわく

が止まりませんね！今年はどんなかわいい春駒たちに出会えるのでしょうか。

昨年の春駒第1号は3月23日に生まれたメス。合計19頭の春駒が生まれました。例年、都井岬では3月下旬から5月頃にかけて、15〜20頭ほどの春駒が誕生します。母馬は、約11カ月の妊娠期間を経て、誰の手も借りず、自分一人で子馬を産み落とすのです。母馬の愛を受け産まれた春駒たちですが、そのうち、およそ30〜40％は満1歳を迎え

るまでに亡くなってしまいます。昨年は19頭生まれた春駒のうち、生き残れたのはたった9頭。残念ながら、約半分の春駒が命を落としてしまいました。厳しい自然環境の中で生き残るといのは、本当に大変なことなのです。

都井岬では、大自然の中をたくましく生きる御崎馬たちのさらなる魅力を伝えるために、『野生馬ガイドツアー』を行っています。目からうろこの知識や丘の上からの絶景など、とびつき

りの都井岬の魅力・感動をぜひ体験してください！
また、4月には、旧都井岬観光ホテル跡地に、新施設『串間市都井岬観光交流館』がオープンします。新しい命とともに、新しい都井岬が始まります。これまでの都井岬とは違った魅力を発見できるかもしれません。

春駒第1号の誕生のお知らせも、新施設のオープンも、楽しみに待っていてくださいね！



問い合わせ先

都井岬ビジターセンター
串間市観光物産協会

☎0987-76-1546(令和2年3月31日まで)
☎0987-72-0479